



平成30年1月31日

横浜市立金沢小学校

横浜市金沢区町屋町26-26

☎781-2401

ESD の取組 ～よりよい社会がいつまでも続くように～

学校長 高木 篤子

2020年のオリンピックに向けて、学校ではマスコットの投票をして子どもたちの関心が高まりつつあります。さらに10年後、2030年に社会はどのように変わっているのでしょうか。

国際連合では、よりよい生活を送ることができる世界を目指し、2016年から2030年までの「持続可能な開発のための目標」として次のような17の項目に関する目標を決めました。

- 1 貧困 2 飢餓 3 保健 4 教育 5 ジェンダー 6 水・衛生 7 エネルギー
8 成長・雇用 9 イノベーション 10 不平等 11 都市 12 生産・消費 13 気候変動
14 海洋資源 15 陸上資源 16 平和 17 実施手段

学校教育においてもユネスコや文部科学省からESD（持続可能な開発のための教育）の推進が求められています。持続可能とは、今の自分のまわりだけでなく、未来のみんなや地球も今みたいに暮らせるということです。横浜市では「ESD推進コンソーシアム」を形成し、1月20日（土）にJICA横浜にて交流報告会が開かれました。交流報告会に学校代表として4年生2名が参加し、主として目標14を視点に本校の特色ある教育活動である「海の環境教育」の取組を次のように発表しました。（原稿より一部抜粋）

金沢小学校では、海をテーマに6年間、海と人との関わりを学習しています。1年生のテーマは『海とあそぼう』です。海の公園で砂遊びをしたり、虫取りをしたりして楽しみました。秋には東京湾黒鯛研究会の方々と一緒に「黒鯛稚魚放流体験」を行います。2年生のテーマは『海のとからもの』です。貝殻を拾って世界に一つだけのランプを創りました。海の公園で波の音、海の匂い、砂の感触、風など海を肌で感じる活動を楽しみます。3年生のテーマは『海と生き物』です。八景島シーパラダイスの方と浅瀬の生き物を探しました。マハゼ、カニ、ヤドカリ等が獲れました。顕微鏡でプランクトンの観察もしました。4年生は『海の森』をテーマにした学習をしています。私は「アマモの苗床づくりの会」に参加しました。このときにアマモの種を分けていただき、アマモを育てています。海を守りたい、アマモを増やして海の森を増やしたいと考えたのがきっかけです。アマモの苗が育ったら、海に移植して、少しでもアマモ場を増やす活動のお手伝いができたらと思います。5年生は『海の力』がテーマです。去年は海苔作り体験をしました。学校で育てたお米と海水を煮詰めてできた塩とこの海苔でおにぎりを作り、おにぎりパーティーをしたようです。6年生は『海の命』がテーマです。JAMSTECの方から深海のことを教えていただきました。1月には、横須賀の本部に見学に行く予定です。

各学校の取組をポスターセッション形式で発表した後、テーマ「2030年の私たちの未来」について、17の目標を視点に児童生徒が話し合いました。自分たちの地域の特色を生かした体験的な活動を行い、そこから徐々に視野を広げて、よりよい社会がいつまでも続くように未来を担う子どもたちが考える機会をもつことの意味を感じることができました。